

上小阿仁村農業再生協議会（秋田県上小阿仁村）

組織の概要

- 上小阿仁地域の中核的な担い手として、H31に（株）グリーンサポート設立。
- 経営面積（R5）：33.6ha（水稻23.7ha、大豆7.4ha、そば2.5ha）
- 高齢化が進む当地域の農地を積極的に集積し、水稻、大豆の規模拡大を図る。
- 卸を通じて味噌製造業者へ出荷するなど需要に応じた大豆生産に取り組む。



生産概要

- 【地域の作付面積（R5）】大豆24ha：（株）グリーンサポート設立を契機に大豆の作付拡大、生産性向上の取り組みを開始。
- 団地化の促進、圃場の排水性改善に努め、大豆の生産性向上を目指す。
- 大豆3年－水稻2年作付けのブロックローテーションを水系ごとに実施予定。



取組のポイント

<大豆の生産性向上対策の実施>

- 大豆生育へ及ぼす浸透水の影響を軽減し、作業効率を高められるよう地域内の農業者と情報交換を重ね農地を集積し、大豆の作付拡大、団地形成の促進を図った。
- カットブレーカーを用いた心土破碎による排水性改善、リバーシブルプラウを用いた土壌反転による畑地化促進に取り組んだ。
- レーザーレベラーを用いて圃場を均平にすることで、停滞水を生じにくくし、播種面積の増加と苗立ち、生育の向上を図った。



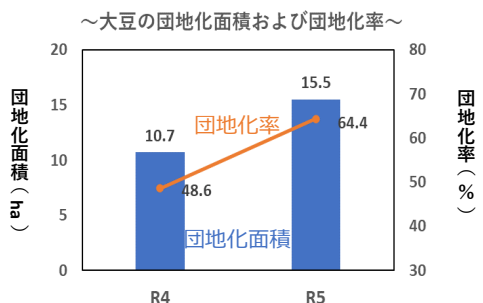
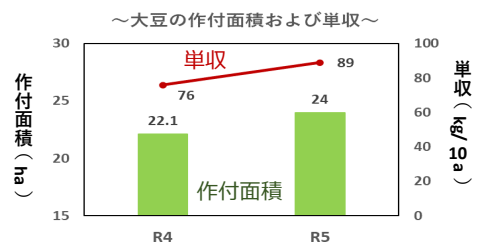
<実需者との意見交換の実施>

- 需要に応じた大豆生産を進めるため、秋田県内外の実需者と取引に向けた意見交換を行った。

取組成果

<安定した大豆生産を実現>

- 地域の農地を集積し、大豆の作付を拡大させ、団地形成を促進させた。その結果、目標年度（R7）前にそれぞれ計画を上回った。
（作付面積：22.1ha（R4）→ 24.0ha（R5）、目標23.5ha）
（団地面積：10.7ha（R4）→ 15.5ha（R5）、目標13.4ha）
（団地化率：48.6%（R4）→ 64.4%（R5）、目標56.8%）
- 排水不良な転換畑でありながら、心土破碎による排水性の改善や土壌反転による畑地化の促進、農地の均平を図ったことで、豪雨災害に見舞われながらも単収を向上させた。
（76kg/10a（R4）→ 89kg/10a（R5）、目標81.4kg/10a）



<味噌製造業者に大豆の供給を開始>

- 国産大豆を求める秋田県外の味噌製造業者への供給のほか、地元業者とも連携し、地元産大豆を使った味噌製造を開始した。